

CSW61 Youth Forum

Day 1: 3月10日 9:30-18:30

Day 2: 3月11日 9:00-18:00

記録：船引はるか

Day 1

【High-Level Opening】

- ・ Ms. Phumzile Mlambo-Ngcuka, Executive Director, UN Women^{[1][2]}と3人のユースによるQ&Aセッション

Q. なぜCSWのような若者が議論する場が重要なのか。

A. ピアラーニングほど重要なものはない。共に議論し、ブレイクスルーを得ることも大事だが、共に失敗することも同じく大事。これらの経験が人を形成する。

Q. 何を優先事項として活動してきて、どのようなアドバイスをユースに伝えたいか。

A. 人種や階級の課題を抱える国で育ち、ネットワークを大事にしながら活動してきた。困難の一つは年代が上の世代にユースの声を届けること。これを成功させるには組織として機能し、協力体制を作ることが必要。

Q. 男性の参画の重要性はなにか。

A. 女性の権利と人権はイコール。暴力や貧困のない世界を実現するためには女性の力が必要。この男女平等の世界では、男性は常にヒーローである必要がなく、休憩をとれるという利益を得る。

"Every generation has a mission to fulfill or to betray"という Frantz Fanon の言葉を紹介し、この世代のミッションはジェンダーの平等を実現することだと宣言し、Q&A セッションは終了した。

- ・ 歌を通したジェンダー問題へのアプローチ
- ・ Casar Jacobson (聴覚障害者)

障害者の失業率は一般より低く、仕事に就いていても賃金が低い。テクノロジーにはジェンダー差別がないため、促進を応援している。

- ・ William Otuck, SRH leader

なぜ男性が議論に参加することが大事なのか。妻を4人持つ父に生まれ、男性優位を教育されたのち、両親の離婚に伴い母に引き取られ、異なる信念をもつようになった。今は父親として、娘がどのような世界で育つのか考えさせられる。

- ・ H.E. Amina Mohammed, Deputy Secretary-General of the United Nations

ここで学んだことをコミュニティに持ち帰ってはじめて"Represent"していることになる。ユースはみな夢をもっている。Deputy Secretary-General の役割はその夢を実現へと導くこと。このままのペースだとジェンダーの経済的平等を達成するには170年かかってしまう。これを縮めるために「誰も置き去りにしない」ことを掲げた2030アジェン

ダが設定された。女性や少女への投資は、利益となる。これは正しいだけではなく、賢い選択である。ここまでが SG のチームが用意したスピーチであり、ここからは自身の言葉。皆それぞれの道があり、一步一步に意味がある。自分と周囲の人を力づけるために、一步一步を大切に。先日コロンビア大学でスピーチをした際に、アフリカ系の女性が苛立ちを見せた。大学に通い、気取ったアクセント、気取ったスピーチ、本当に人の役に立っているのか。しかし実は大学は出ていない。それを何の言い訳にもせず、毎日、自分より恵まれていない人の生活を改善できる立場につけるよう祈っている。

・ **Malayah Harper, General Secretary of World YWCA**

市民社会のスペースがナショナリズムや伝統により縮小するなか、団結することのパワーが重要である。エンパワーメントは頻繁に議論に出るが、パワーについての議論がない。歴史において成功した運動はすべてコミュニティの中から変革が生まれている。ユースに危機感を持ち込んでほしい。

・ **Ms. Lakshmi Puri, Deputy Executive Director, UN Women**

85 カ国からの参加者全員に、帰ったらコミュニティに影響を与えてほしい。若者の質量率はまれに見る高さにある。教育のジェンダー間のギャップは縮まっているものの、教育だけではなく、対価のない労働や低賃金労働を改善するために、労働のマインドセットも変える必要がある。女性や少女への投資が GDP の成長につながるというデータは既にある。この場で、ユースの声で、世界を変えてほしい。

・ **Ms. Christina Gallach, USG, Department of Public Information**

Connect と Communicate することの大切さ。アフリカに住むユースの数は莫大で、その若者たちを動かすことが求められている。その取り組みの一環としての雑誌を紹介。

【Plenary 1: Investing in Young Women's Leadership in implementation of SDGs】

パネルディスカッションの形式で議論が行われた。CEO やマネージメントポジションに占める女性の割合の少なさ等の現状を受け、若い女性のリーダーシップの必要性が再認識された。また、ジェンダーの平等を議論する上で、LGBTQI が取り残される傾向にある点も挙げられた。

【Plenary 2: Young Women as an Economic Force】

テクノロジーの分野で活躍する女性や起業した女性が登壇し、この分野に興味を持つ女性へのアドバイスや民間セクターができること、女性の投資行動傾向とその変化の必要性について中心に話された。企業内外の多様性にも議論が及んだ。

【Thematic Sessions】 1. Why SRHR and HIV/AIDS are Central to Economic Empowerment

経済的エンパワーメントの議題の中心には位置付けられないことの多い性と生殖に関

する健康/権利に関して、どのような優先事項を **Declaration** に含めるべきかの洗い出しが 25 人ほどの小セッションで行われた。私の班では、データ収集や統計、セーフスペースの設置が重要だとされた。

【Closing Session】

まず CEDAW に関するパネルディスカッションが行われた。事故で両手をなくした若い女性が登壇し、障害に負けずに奮闘する姿を見せた。他にも音楽活動を通して女性が道を探し、時には間違える自由があることを訴える男性も登壇した。最後に、**Ms. Lakshmi Puri** が「**Action** の第一歩目は **Knowledge** である」と宣言し、女性の人権の世代になるよう参加者に呼びかけた。

Day 2

【Opening Session】

- Ms. Elizabeth Nyamayaro, Senior Advisor to the Under-Secretary-General of UN

子供の頃に村で手を差し伸べてくれた青いユニフォームの女性に憧れ、国連に参加。人種、性別、社会の様々な不平等を経験してきたが、世界人口の半分（女性と少女）を高めるためには、男性を含めた世界のすべての人々を高めることが必要である。自らが牽引してきた HeForShe のイニシアチブは、数多くの人々に参加してもらうことに成功している。自分の世界を変えることで、すべての世界を変えることができる。

【Plenary 3: Partnerships with Young Men in Gender Equality】

ジェンダーの平等の実現における男性とのパートナーシップの必要性に関してディスカッションが行われた。男性を含めるユースに興味を持ってもらうためには、学校に働きかけて若いうちからマインドセットを変えること、「おもしろさ」を仕掛けることも必要であることが議論された。また LGBTQIA コミュニティの登壇者は、異性愛者による、それぞれの性別のあるべき姿等についての前提を崩す必要性を訴えた。

【Skill Exchange Labs】

2. Political Advocacy

15人ほどのグループで、個人のレベル、NGOのレベルにおける政策提言について、ナレッジ共有が行われた。議員に話しに行くこと、その際に自分の推す政策の具体的な部分まで理解すること、一人の意見としてではなく、多くの人が思いを共有していること伝えることがアドバイスとしてあげられた。

4. Self Defense & Practice Skills for Ending Violence Against Women and Girls

インターネット上のいじめやセキュリティに関するレッスン、また掴まれた時の逃げ方のスキルの実践的なレッスンが行われた。

【Plenary 4: Strengthening Inter-Generational Partnership】

女性問題に関する議論が以前から続いているが、なぜ今日、世代間のパートナーシップが必要なのか。フェミニストによる運動ではもはや十分ではない。これはジェンダー平等を中心とする社会正義の問題であり、多様なアクターを引き入れる必要がある。Inter-generational leadership は、よりインクルーシブな議論を可能にすることが確認された。

【High-Level Keynote Listeners and Respondents - Closing】

- The Honourable Maryam Monsef, Canada's Minister of Status of Women

4年前に CSW に参加し、自らがいかに恵まれているか認識。それぞれのコミュニティでのジェンダーの問題は、世界中の人の課題。一人ではないことを感じて、帰ってほしい。ジェンダー課題へのアプローチは **inter-generational, multicultural, cross-sector** でなければならない。“**Represent**”できることを恵まれたことだと理解し、そしてお互いに優しくあること。

- **Declaration** が読まれ、パネルに提出された。

- **Ms. Phumzile Mlambo, ED, UN Women**

提出された **Declaration** は良い変化をもたらす。多様性を体現したユースフォーラムは **UN Women** にとっても素晴らしい機会である。**Declaration** に含まれた「ジェンダーはバイナリーではない」ことは新しい言語であり、多様性を表している。ユースフォーラムに感謝の意を表明。

- **Hon. Karen Ellemann, Minister for Equal Opportunity and Special Representative for the Danish Candidature for the UN HRC 2019-21, Denmark**

デンマークの政策の方針は、ユースの参画。特に若者の議論を取り入れるための場を設けること、性と生殖に関する健康の情報へのアクセスを確保すること等は女性の経済的エンパワーメントに不可欠であり、**CSW** の核であり、そして **SDGs** の達成に必要なことである。困難は予想されるが、これからの2週間、押し続けるテーマである。

- **Saket Mani, Planet 50/50, Youth Champion**

Declaration を活用して、**local, national, global** のレベルで実行に移すこと。

- **H.E. Mr. Antonio de Aguiar Patriota, Brazil, Chair of CSW61**

この **Declaration** は **CSW61** の優先事項と非常に重なる部分が多い。明日からの政府間の議論にしっかりと持ち込む。しかし、世界のジェンダー課題解決にはまだほど遠い。**Gender Gap Report** によると、女性の賃金は男性より低く、また対価のない労働も多い。北京会議で決められたことを実現するためには若い女性、男性の参画が不可欠であり、**SG** もユースのポテンシャルに確信をもっている。

- **Ms. Lakshmi Puri, DED, UN Women**

参加者、コミットする人たち、パネルに感謝の意を表明。

どのような文脈でジェンダー平等を議論するのか、活動するのか。紛争、移民等多様な課題のもとで、社会には不満がある。不満をもたらしている現状のシステムに変化を与えるために、ユースがアルタナティブを提供する場、その一つがこのフォーラムである。ピアラーニング、ネットワーキング、ここで学んだことを地元を持ち帰ること、活動の原動力となることへの責任、そしてジェンダー課題が **multi-sector, multi-stakeholder** のアプローチが必要であることをフォーラムで学んだはずである。**Declaration** で重点が置かれた事項をさらい、クロージングセッションは幕を閉じた。